

第8学年2組 美術科学習指導案

日 時 令和3年12月3日(金) 5校時
 学 校 名 島根大学教育学部附属義務教育学校
 指導者氏名 江角 哲弥

1 題材名 附属を案内！～多くの人にひと目で伝えるための工夫～

A表現 (1) イ (イ) (2) ア (ア) (イ) B鑑賞 (1) ア (イ) [共通事項] (1) ア, イ

2 題材の目標

- ・形や色彩が感情にもたらす効果や、場所や造形的な特徴などを基に、多くの人に伝達するイメージを捉えることを理解し、色紙による配色や構成の工夫など、意図に応じて表現方法を追求して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表すことができる。
(知識及び技能)
- ・伝える相手や場所などのイメージを基に主題を生み出し、形や色彩が感情にもたらす効果やわかりやすさと美しさなどの伝達の効果との調和、形の単純化や省略、強調などを総合的に考えて構想を練ったり、伝達のデザインの洗練された美しさなどを感じ取ったりして、作者の意図や表現の工夫などについて考えるなどして美意識を高め、見方や感じ方を深めることができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に伝える相手や場所について情報をわかりやすく伝えることなどを基に表現したり、鑑賞したりする学習活動に取り組むことができる。
(学びに向かう力、人間性等)

3 題材の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>知 形や色彩がもたらす効果や、場所や造形的な特徴などを基に、多くの人に伝達するイメージを捉えることを理解している。</p> <p>技 色紙による配色や構成の工夫など、意図に応じて表現方法を追求して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表している。</p>	<p>発 学校内の場所をわかりやすく案内するために、伝える相手や様々な教室、トイレ、部室などの場所のイメージを基に主題を生み出し、形や色彩が感情にもたらす効果とわかりやすさと美しさなどの伝達の効果との調和、形の単純化や省略、強調などを総合的に考えて構想を練っている。</p> <p>鑑 伝達のデザインのわかりやすく洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図や表現の工夫などについて考えるなどして美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>態表 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に主題を生み出し、形や色彩が感情にもたらす効果や伝達の効果との調和を考えて構想を練り、意図に応じて表現方法を追求し見通しをもって表す表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に伝達のデザインのわかりやすく洗練された美しさを感じ取り、作者の意図や表現の工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

4 基盤

(1) 題材観

本題材では、学校内の場所(教室やトイレ、部室など)をわかりやすくするためのピクトグラムを制作することを通して、他者や社会などより多くの人に、形や色彩の効果などを用いて楽しく的確に伝える生活や社会の中での伝達のデザインの働きについて考えることをねらいとする。

ピクトグラムは、形や色彩の効果をいかし、わかりやすく情報を伝えるためのデザインの1つである。伝えようとする情報を、言語を用いずに視覚的な図や記号で表現し、内容を即時に伝えることができるため、様々な公共施設や公共空間、国際的な場で使用されている。また、オリンピックの競技シンボルとしても活用されており、生活や社会の中で身近に存在している伝達デザインである。

学校内では、ピクトグラムのような伝達デザインを目にすることは少なく、「美術教室」や「ライブラリー(図書室)」、「〇〇部」(部室の表示)などの文字による言語表現がほとんどである。本題材ではそのような場所を、保護者や来校者を案内するという目的でピクトグラムを活用して表現することで、言語を用いずに情報を伝えることができる伝達デザインの力に気づかせ、学校生活を楽しくわかりやすく

するためのデザインを考えるおもしろさを味わわせたい。また、形や色彩が感情にもたらす効果やわかりやすさと美しさとの調和、単純化や省略、強調などを総合的に考えて表現する力をつけたり、伝達のデザインにおける意図や表現の工夫を考えることで、社会生活におけるデザインの効果、見方や感じ方を深めたりすることが期待できる。

(2) 生徒観

本学級の生徒は7年生で色の三要素や三原色、配色の工夫など、色について学習している。それをいかして、形や色彩の特徴や美しさから心情を基に主題を生み出した作品や、モダンテクニックなどを活用した作品を制作してきた。また、8年生の1学期から2学期にかけての自画像制作を通して、自分自身と向き合い、思いや感情を表現する活動をしてきた。立体作品の制作では、オノマトペを基に自分の感情を抽象化して表現する活動をした。したがって、自分が表したいイメージを形や色彩に置き換えて表現する力や、形や色彩が感情にもたらす効果を理解して、作者の心情、表現の意図や工夫を考えて見方や感じ方を広げることができている。しかしその一方で、他者や社会などに視点を置き、より多くの人に情報をわかりやすく伝えることができる伝達のデザインの働きについて考える学習が十分にできていないのが現状である。生徒への事前のアンケートでは、「ピクトグラム」という言葉を知っているという生徒は93.1%であったが、その役割を説明できるのかについて、「ある程度できる」と回答した生徒は74.1%と高水準であることに対して、「できる」と回答した生徒は14.8%であった。また、日常生活の中で非常口やトイレ、交通標識などのマークやサインを意識して見たことが「どちらかといえばない」「ない」と回答した生徒が全体の約20%であった。したがって、美術が生活や社会と密接な関わりをもち、様々な場面で伝達デザインとして活用されていることに意識が向いていない生徒が少なからずいるということである。そのため、中学校学習指導要領（美術編）に「伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容、社会との関わりなどから主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練ること。」とあるように、より多くの人にわかりやすく美しく伝えるために、形や色彩が感情にもたらす効果やわかりやすさと美しさとの調和などをいかしながら表現する力を養わせたい。また、伝達デザインの制作を通して、多くの人にわかりやすく情報を伝える意義やおもしろさを味わわせたい。

(3) 指導観

本題材では、様々なピクトグラムを鑑賞することを通して、情報をわかりやすく伝えるためにどのような工夫がされているのかを考えさせることによって、身近な生活や社会の中での伝達のデザインについて興味や関心を高めさせる。その後、情報をわかりやすく伝えるために、形や色彩が感情にもたらす効果やわかりやすさと美しさとの調和、形の単純化や省略、強調などを考えて表現の構想を練った上で、実際に自分が考えた学校内の場所を案内するピクトグラムを制作する。最後に作品の相互鑑賞を行い、わかりやすく洗練された美しさを感じ取ったり、作者の意図や表現の工夫などを考えたりすることを通して、形や色彩などを用いてわかりやすく伝えるために身近な生活や社会の中で役立っている伝達デザインの働きについて理解させたい。

本時（第1次）では、ピクトグラムを鑑賞することを通して、わかりやすく伝えるために形や色彩にどんな工夫がしてあるのかを考える活動をすることで、伝達デザインに対する見方や感じ方を深めることがねらいである。まず、「東京オリンピック2020」で使用されていたピクトグラムや、日常的に多く目にするピクトグラムを鑑賞し、興味や関心をもたせる。そのあと、場所や注意、危険などを表している様々なピクトグラムを、電子ホワイトボードツールを使用して分類し、その意図や特徴、表現の工夫や役割について、意見を述べ合う活動を行う。このような活動をすることで、多くの人にわかりやすく伝える伝達のデザインには、形や色彩に様々な工夫がされていることを理解させ、見方や感じ方を深めさせたい。

第2次では、第1次で学習した伝達デザインにおける形や色彩の工夫をいかして、伝える相手や伝えたい場所のイメージから主題を生み出し、学校内を案内するピクトグラムの構想を練る。形や色彩が感情にもたらす効果や、わかりやすさと美しさとの調和、形の単純化や省略、強調などに視点をもたせながら、多くの人に伝わりやすい工夫を考えさせる。構想の途中で相互鑑賞を行い、お互いのアイデアをみて、よさや工夫について話し合ったりアドバイスし合ったりさせる。この活動を通して、自分のアイデアを客観的にみることができ、より多くの人に伝わりやすいデザインにするためにさらに工夫を加えることにつながる。

第3次では、第2次で考えた構想を基に、形や色彩が感情にもたらす効果やわかりやすさと美しさとの調和などを考えながら、表現方法を追求して制作を行う。ここでは色紙を用い、自分が伝えたい場所のイメージから使用する色を選ばせたり、配色や構成の工夫を考えさせたりする。また、制作の途中で相互鑑賞を行うことで、お互いの作品のよさや表現の意図や工夫について話し合ったり批評し合ったりさせる。この活動から、伝えたい場所のイメージと自分の作品で表現している形や色彩が合っているのかを客観的にみることによって、より多くの人にわかりやすく伝えるデザインとなるためにさらに表現方法を追求させ、よりよい作品づくりとなるようにしたい。

第4次では、お互いの作品の相互鑑賞を行う。自分の作品について振り返り、自分の言葉で表現の意図や工夫について考えて他者に伝えたり、他者の作品のよさ、表現の意図や工夫について考えたりする

ことを通してお互いの作品のよさや美しさを共有する。相互鑑賞を通して、わかりやすく美しく伝えるために形や色彩の効果を追求して表現したことを理解させるとともに、身近な生活や社会の中で楽しくわかりやすく伝えることができる伝達デザインの働きについて学んだことを実感させたい。また、授業のまとめの際には、色覚に関することについて触れ、教科性として多様な見え方や感じ方、考え方があ

5 指導と評価の計画（全9時間 本時1／9）

●学習のねらい・学習活動	知・技	思・判・表	態度	評価方法・留意点等
<p>1. 鑑賞（1時間）</p> <p>●ピクトグラムを鑑賞することを通して、伝達のデザインに関する見方や感じ方を深めるとともに、形や色彩が感情にもたらす効果や、わかりやすさと美しさなどの伝達の効果との調和や統一感などの全体のイメージで捉えることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「東京オリンピック2020」で使用されていたピクトグラムや、日常的によく目にするピクトグラムを見て、興味や関心をもつ。 ・場所や注意、危険などを表している様々なピクトグラムを、電子ホワイトボードツールを使用して分類し、ピクトグラムの意図や特徴、表現の工夫や役割について、形や色彩の性質などの視点から感じたことや考えたことについて意見を述べ合う。 	<p style="text-align: center;">知</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">知</p>	<p style="text-align: center;">鑑</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">鑑</p>	<p style="text-align: center;">態鑑</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">態鑑</p>	<p>知 形や色彩などの造形的な視点に着目して、共通性や統一感などについて理解しているかを見取り、できていない生徒に対して形やつかわれている色の数や組み合わせの効果などを具体的に示しながら指導を行う。【発言の内容、ワークシート】</p> <p>鑑 ピクトグラムの表現の意図や工夫、その役割などについて考えているかを見取り、見方や感じ方が深まらない生徒に対して、形や色彩が感情にもたらす効果など〔共通事項〕の視点を示して作品を鑑賞させるなどの手立てを講じる。【発言の内容、ワークシート】</p> <p>態鑑 伝達のデザインに興味や関心をもち、形や色彩などの性質を理解しようとしたり、わかりやすさや洗練された美しさとの調和を感じ取ろうとしたり、表現の意図や創造的な工夫について考えようとしているかを見取り、できていない生徒に対して、生活の中に潜んでいる身近なデザインを紹介したり、見る人の視点に立たせるなどの指導を行う。【発言の内容、活動の様子】</p> <p>知 生徒が、形や色彩などの造形的な視点に着目して、伝達のデザインにおける形や色彩の工夫、共通性や統一感を理解しているかどうかを評価する。【ワークシート】</p> <p>鑑 生徒が、伝達のデザインに対する見方や感じ方を深められたかどうかを評価する。【ワークシート】</p> <p>態鑑 生徒が主体的に伝達のデザインの形や色彩などが感情にもたらす効果やわかりやすさと美しさとの調和などの全体のイメージで捉えながら、見方や感じ方を深めようとしているかを評価する。【ワークシート、活動の様子】</p>

2. 発想や構想（3時間）

●主題を生み出す。

- ・鑑賞の学習で学んだことをいかしながら，伝える相手や伝えたい場所などのイメージ（誰が使うのか，何をやる場所なのか，何があるのかなど）から主題を生み出す。

●構想を練る。

- ・創出した主題を基に，形や色彩が感情にもたらす効果や，わかりやすさと洗練された美しさとの調和，形の単純化や省略，強調などを総合的に考え，表現の構想を練る。

発



態表



発 伝える相手や伝えたい場所などのイメージ（誰が使うのか，何をやる場所なのか，何があるのかなど）から主題を生み出せているかどうかを見取り，主題が生み出せていない生徒に対して，ピクトグラムを使用する場所について特徴を確認させたり，どのようなイメージがあるのかについて考えさせたりするなどの手立てを講じる。【ワークシート，アイデアスケッチ】

態表 主題を生み出そうとする態度を見取り，主体的に活動できていない生徒に対して，鑑賞の学習での内容をふりかえらせたり，伝えたい場所について特徴的なものや具体的な内容などを考えさせたりするなどの指導を行う。【ワークシート，アイデアスケッチ，活動の様子】

発 主題を基に形や色彩などが感情にもたらす効果や，わかりやすさと洗練された美しさとの調和，形の単純化や省略，強調などを総合的に考え，表現の構想を練っているかどうかを見取る。構想が練れていない生徒に対して再度主題を考えさせたり，伝えたい場所と形や色彩が感情にもたらす効果などの〔共通事項〕との関連を考えさせたりする。【ワークシート，アイデアスケッチ】

態表 主体的に構想を練ろうとしているかを見取り，できていない生徒に対して，鑑賞の学習での場所や注意，危険などを表しているピクトグラムにおける伝達のデザインの意図や表現の工夫などについて，形や色彩の性質などの視点から再度考えさせる。【ワークシート，アイデアスケッチ，活動の様子】

<p>●よりよいアイデアを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 相互鑑賞を行い、客観的な視点で構想を見直すことで、より伝達しやすいデザインとなるように形や色彩を工夫する。 				<p>発 お互いのアイデアスケッチの意図や工夫について伝え合い、より伝達しやすくするためにはどうすればよいのか考え直して、形や色彩を工夫しているのかを見取り、できていない生徒に対して、形や色彩の効果などの〔共通事項〕やわかりやすさや美しさとの調和、形の単純化や省略、強調について考えるなどの視点を示して修正させる手立てを講じる。【ワークシート】</p> <p>発 生徒が、学校内の場所（教室やトイレ、部室など）のイメージなどをから主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、わかりやすさと洗練された美しさとの調和、形の単純化や省略、強調などを総合的に考え、表現の構想を練っているのかを暫定的に評価し、授業外で、主題や構想の工夫などを記述したワークシート等を完成作品と併せて再度見取り、必要に応じて修正する。また、アイデアスケッチの相互鑑賞を通して、より伝達しやすくするためにはどうすればよいのかを考え直し、形や色彩を工夫しているのか見取り評価する。【ワークシート、アイデアスケッチ】</p> <p>態表 生徒が主体的に知識を活用しながら、発想や構想の学習活動に取り組もうとする態度を評価する。【ワークシート、アイデアスケッチ、活動の様子】</p>
<p>3. 制作（4時間）</p> <p>●発想や構想を基に、意図に応じて表現方法を追求して見通しをもって表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 形や色彩が感情にもたらす効果をいかし、色紙による配色や構成の工夫など、意図に応じて表現方法を追求して、制作の順序などを総合的に考えながら見通しをもって創造的に表す。 	<p>技</p> <p>↓</p>	<p>発</p> <p>↓</p>	<p>態表</p> <p>↓</p>	<p>技 形や色彩が感情にもたらす効果やわかりやすさ美しさの調和などを考え、色紙による配色や構成の工夫など、意図に応じて表現方法を追求して、制作の順序などを総合的に考えながら表しているかどうかを見取り、できていない生徒には、もう一度アイデアスケッチを確認させたり、他者の作品を鑑賞して表現の工夫についてヒントを得させたりするなどの指導を行う。【制作途中の作品】</p>

- より伝達しやすいデザインとなるように修正する。
- ・制作の途中で相互鑑賞を行い、自分の作品の表現意図を説明したり、他者の作品のよさや美しさを感じ取ったりして、より伝達しやすい表現を考えることで、表したものをより一層明確にしながら作品を完成させる。

知・技

態表

発 まだ構想ができていない生徒に対して、伝える相手や伝えたい場所について、意図や工夫をもう一度考えさせたり、形や色彩の効果について他者の作品を鑑賞しながら考えさせたりするなどの指導を行う。【制作途中の作品】

発 お互いの作品の意図や工夫について伝え合い、より伝達しやすくするためにはどうすればよいのか考え直して、形や色彩を工夫しているのかを見取り、できていない生徒に対して、形や色彩の効果などの〔共通事項〕やわかりやすさと美しさとの調和、形の単純化や省略、強調などについて考えるなどの視点を示して修正させるなどの手立てを講じる。【ワークシート】

知・技 作品から、意図に応じて表現方法を工夫して表しているかなどを見取るとともに、形や色彩などの効果やわかりやすさと美しさとの調和などの全体のイメージで捉えることを理解しているかを併せて見取り、**知**と**技**を**知・技**として一体的に評価する。【作品、アイデアスケッチ、ワークシート】

態表 生徒が主体的に制作に取り組み、形や色彩などの効果やわかりやすさと美しさの調和などの全体のイメージで捉えることを理解しようとし、見通しをもって制作の意図に応じて工夫して表そうとしている態度を評価する。【作品、活動の様子】

<p>4. 鑑賞（1時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生徒作品を相互鑑賞し、伝達のデザインについての見方や感じ方を深める。 ●お互いの完成した作品を相互鑑賞し、表現の意図や工夫、感じたことや考えたことなどを発表し合ったり、伝達のデザインにおけるわかりやすさや洗練された美しさとの調和などを感じ取ったりするなどして、見方や感じ方を深める。 ●身近な社会や生活の中で楽しく的確に伝えることができる伝達のデザインについて学んだことを実感し、普段の生活に目を向ける。 ●ピクトグラムを制作したことを通して、多くの人にわかりやすく情報を伝える意義やおもしろさ、伝達のデザインについて学んだことなどをふりかえる。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">知</div> <p style="text-align: center;">↓</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">鑑</div> <p style="text-align: center;">↓</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">態鑑</div> <p style="text-align: center;">↓</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>知 形や色彩などの効果や場所を表す造形的な特徴などを基に、多くの人に伝達するイメージで捉えることを理解しているかどうかを見取り、できていない生徒に対して実際に使われているピクトグラムを例として示すなどの指導を行う。【ワークシート、発言の内容】</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>鑑 自分の作品のよさや美しさを説明したり、他者の作品の意図や造形的な工夫について考えているのかを見取り、できていない生徒に対して、伝えたい場所について主題や構想を振り返させたり、形や色彩が感情にもたらす効果などの〔共通事項〕の視点で鑑賞させるなどの指導を行う。【ワークシート、発言の内容】</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>態鑑 作品のよさや美しさを感じ取ったり、作者の意図や表現の工夫について主体的に考えたりしているかどうかを見取り、できていない生徒に対して作品の主題や構想と関連づけさせたり、形や色彩の効果やわかりやすさと洗練された美しさとの調和、形の単純化や省略、強調などの視点で考えさせたりするなどの指導を行う。【ワークシート、発言の内容、活動の様子】</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>態鑑 生徒が主体的に作品を鑑賞し、形や色彩などの効果やわかりやすさと美しさとの調和などの全体のイメージで捉えることを理解しようとし、造形的なよさや美しさを感じ取ろうとしたり、作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考えようとしたりしているかどうかを評価する。【ワークシート、活動の様子】</p> </div>
<p><授業外：題材が終了後></p>	<p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">知・技</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">態鑑</div>	<p>知・技 完成作品や表現及び鑑賞のワークシートなどから知・技の評価を再確認し、必要に応じて修正する。【完成作品、アイデアスケッチ、ワークシート】</p>

		鑑 発	<p>鑑 作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考え、見方や感じ方が深められているかをワークシートで見取り評価する。【ワークシート】</p> <p>発 発想や構想について、主題や構想の工夫、アイデアスケッチやその修正案などを記述したワークシート等を完成作品と併せて再度見取り、必要に応じて修正する。【完成作品、アイデアスケッチ、ワークシート】</p>
--	--	--------	--

6 本時の学習（1／9時間）

(1) 目標

- ・形や色彩が感情にもたらす効果や、場所や注意、危険などを表す造形的な特徴などを基に、多くの人に伝達するイメージを捉えることを理解することができる。 (知識及び技能)
- ・ピクトグラムを鑑賞することを通して、伝達のデザインのわかりやすさや洗練された美しさなどを感じ取り、ピクトグラムの意図や特徴、表現の工夫やその役割について考えるなどして見方や感じ方を深めることができる。 (思考力、判断力、表現力等)
- ・ピクトグラムに興味や関心をもち、伝達のデザインのわかりやすさや洗練された美しさなどを感じ取ったり、ピクトグラムの意図や特徴、表現の工夫やその役割を考えたりするなどの鑑賞の学習活動に主体的に取り組むことができる。 (学びに向かう力、人間性等)

(2) 展開

学習活動と予想される子どもの反応	教師の支援（・）と評価
<p>[授業開始前] タブレット端末を起ち上げ、ネット上にクラスをつくったものにログインする。</p> <p>1. 本時の学習の流れを確認する。(2分)</p> <p>2. 「東京オリンピック2020」で使用されていたピクトグラム(5つの競技)や、日常的に目にする事の多いピクトグラム(非常口、障がいのある人が使える設備)の画像を見る。 (5分)</p> <p>3. 本時の学習目標を確認する。(1分)</p>	<p>[授業開始前] ・全員がログインできているのか、机間支援して確認する。</p> <p>・本時の学習の流れを提示することで、見通しをもって学習できるようにする。</p> <p>・「東京オリンピック2020」で使用されていたピクトグラムや、日常的に目にする事の多いピクトグラムの画像を見て、本時の授業に興味や関心をもたせる。</p> <p>・提示するピクトグラム 野球、サッカー、テニス、陸上、柔道 非常口、障がい者設備</p> <p>・板書し、常に確認できるようにしておく。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">ピクトグラムの特徴や表現の工夫から、その役割について考えよう</div>	
<p>4. 電子ホワイトボードツールを使用し、場所や注意、危険などを表している様々なピクトグラムを分類し、それぞれに共通する意図や特徴、表現の工夫などを考える。 (個人10分→班5分)</p>	<p><分類するピクトグラム></p> <p>公共・一般施設 レストラン、温泉、宿泊施設</p> <p>安全 非常口、津波避難場所、消火器</p> <p>禁止 さわるな、フラッシュ撮影禁止</p>

注意

感電注意，滑面注意

指示

静かに，シートベルト締める

5. 考えたことを全体で発表し，共有する。

(12分)

- ・他者の発表から，自分の考えとは異なることについて色ペンで書き加え，様々な見方や感じ方があることを理解する。

<予想される生徒の反応>

- ・赤に斜線をすることで，禁止を表している。
- ・黄色は危険を表すピクトグラムである。
- ・緑色で表現されていると，安心感がある。
- ・丸い形は落ち着きがあり，三角や四角は強い感じがする。
- ・色は2色で統一されている。
- ・形が簡単にされているので，何を表しているのかわかりやすい。

6. ピクトグラムの意図や工夫から，形や色がもたらす効果を学んだことを通して，ピクトグラムの役割について考え，全体で発表し，共有する。(10分)

<予想される生徒の反応>

- ・言語を用いなくても内容を伝えることができる。
- ・形を簡単にしたり，色を工夫したりして，ひと目で情報をわかりやすく伝える役割がある。
- ・耳が不自由な人や，さまざまな国の人に対しても内容をすぐに伝えることができる。
- ・規定があることによって，不特定多数の人に伝えることができる。

- ・日本工業規格 (JIS) が規定しているピクトグラムを示すことで，形や色に注目して分類できるようにする。
- ・画像を拡大して細かい部分まで注目するように促す。
- ・ピクトグラムのどのような特徴や工夫から分類したのかをしっかりと考えるように指示する。
- ・主体的に取り組めていない生徒や班に対して，形や色にどのような工夫がされているのかについて着目するように促す。

- ・他者の発表を聴いて，自分の考えとは異なることについて，色ペンでワークシートに書き加えるように指示する。
- ・色と形の視点で分けて板書をし，特徴や表現の工夫がわかりやすいようにする。
- ・主観的な視点 (丸い形だと落ち着きがある，三角や四角は強い感じがするなど) と客観的な視点 (黄色は危険を表している，赤に斜線は危険など) があることに気づかせ，どちらの視点が大切なのか考えさせる。
- ・ピクトグラムには，様々な規定 (禁止は赤に斜線，注意は黒枠に黄色など) があることをおさえる。

- ・鑑賞したピクトグラムをふりかえらせ，どんなところに注目したか確認させる。
- ・全体での意見が深まらない場合，同じピクトグラムで，色や周りの形状を変えたものを示し，見え方にどういう違いがあるのかを考えさせる。

7. 本時の学習をふりかえる。(5分)

<予想される生徒の反応>

- ピクトグラムは誰もがわかりやすいように、形や色を工夫されていることがわかった。
- ピクトグラムを形や色に注目して見たことがなかったので、それによって意味が異なることが新たにわかった。
- 形や色がルール化されていることによって、全世界の誰が見ても伝わるものになるのだと感じた。

- 本時の学習における新たな発見や気づき、疑問に感じたことなどについてまとめさせる。

評価の観点(知識・技能)

知 形や色彩が感情にもたらす効果や、場所や注意、危険などを表すピクトグラムの造形的な特徴などを基に、多くの人に伝達するイメージを捉えることを理解している。

【発言の内容, ワークシート】

評価の観点(思考・判断・表現)

鑑 伝達のデザインのわかりやすさや美しさを感じ取り、ピクトグラムの意図や表現の工夫やその役割について、形や色の視点で考え、形や色を工夫することによってわかりやすくつくられているなど、見方や感じ方を深めている。

【発言の内容, ワークシート】

評価の観点(主体的に学習に取り組む態度)

態鑑 伝達のデザインのわかりやすさや美しさを感じ取り、ピクトグラムの意図や表現の工夫やその役割などについて考えて自分の意見を伝えるなど、主体的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。

【発言の内容, ワークシート, 活動の様子】

(3) 評価

評価の観点	十分満足できると判断される状況	概ね満足できると判断される状況	支援を要する状況への手立て
知識・技能	<p>「形を単純化したり、強調したりしてわかりやすくしている」「赤は禁止を表している、黄色は危険を表しているようにみえる」「色を2色に限定していて統一感がある」など、形や色彩が感情にもたらす効果や、場所や注意、危険などを表しているピクトグラムの造形的な特徴などを基に、多くの人に伝達するイメージや全体の統一感などから作品を捉えることを理解している。</p>	<p>「人間の姿を簡単にしている」「色の数が少なく見やすい」など、形や色彩による効果や、場所や注意、危険などを表しているピクトグラムの造形的な特徴などから、多くの人に伝達するイメージで作品を捉えることを理解している。</p> <p>(十分満足できる状況にするための手立て) 形や色彩の数や組み合わせに着目させ、部分だけでなく全体をみて捉えるように促す。</p>	<p>形や色彩に着目させてどのような効果があるのか考えさせたり、場所や注意、危険などを表しているピクトグラムからどのような特徴があるのかを発見させたりする。</p>
思考・判断・表現	<p>「黒い枠に黄色であることから危険を表しているように感じる」「手の前に赤い斜線が引かれていることから触ってはいけないことを表していると思う」など、伝達のデザインのわかりやすさと洗練された美しさとの調和を感じ取り、ピクトグラムの意図や表現の工夫を考え、他者との対話を通して自分の意見をさらに広げるなど、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>「描かれているものが少なく何を表現しているのかすぐわかる」「色の数が少なく、色の組み合わせもよくて遠くからみてもわかりやすい」など、伝達のデザインのわかりやすさや美しさを感じ取り、ピクトグラムの意図や表現の工夫などを考え、見方や感じ方を深めている。</p> <p>(十分満足できる状況にするための手立て) 他者の意見をふりかえることで、自分の意見と比較したり、そこからさらにどう感じるのか再度考えたりさせて、見方や感じ方を深めさせる。</p>	<p>他者の意見も参考にしながら、どのような形が描かれているのか、色の数や組み合わせはどうかなど、ピクトグラムの意図や表現の工夫について具体的に考えさせる。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>「形を単純化しているから、何を表しているのか遠くからでも瞬時に判断することができる」「色の数や組み合わせによっていろいろな思いが表現できる」など、伝達のデザインのわかりやすさと洗練された美しさとの調和を感じ取り、ピクトグラムの意図や表現の工夫について考え、どこからそう思うのか明確な根拠をもって自分の意見を積極的に伝えるなど、主体的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。</p>	<p>「言葉をつかわなくても絵だけで伝えることができる」「色の組み合わせによって見やすさや伝わりやすさが変わってくる」など、伝達のデザインのわかりやすさや美しさについて感じ取り、ピクトグラムの意図や表現の工夫などについて考えて自分の意見を伝えるなど、主体的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。</p> <p>(十分満足できる状況にするための手立て) 自分の意見について、どこからそう思うのか、具体的な根拠を考えるように促す。</p>	<p>わかりやすく伝えるためにどのような工夫がされているのか、それはどこからそう思うのかなど、どんな些細なことでもよいので意識して鑑賞するように促す。</p> <p>教員と一緒に形や色について着目して工夫を探す。</p>

★分類したピクトグラムに共通する意図や特徴、表現の工夫
○自分の考え

○クラスメイトの考え

★ピクトグラムって…?
○自分の考え

○クラスメイトの考え

形における工夫

色彩における工夫

その他の工夫

★ピクトグラムの構想を練ろう！

案内する相手…

(例：保護者、来校されたお客さん、前期課程の子どもたち…など)

案内する場所…

案内する場所の特徴やイメージについて、ウェビングマップを作成しよう

例えば…その場所は誰が使うの？
何をやる場所なの？
その場所には何があるの？ (道具など)

案内する場所

()